

2025.03.10

採用情報　聖風会で働くREALを知る　須田職員 編

聖風会でリーダーとして成長する

#人（人材）～働きやすさと働きがいと～　#採用　#グリーンハイム荒川

聖風会は「最高に価値あるものをすべての人に」という法人理念のもと、ご利用者一人ひとりにとっての「最高に価値あるもの」とは何かを考え、大切に実践してきました。

一人ひとりの職員が、介護のプロとしてケアの質を高めていく取り組みの中に「成長」も「働きがい」も生まれると私たちは考えています。

「聖風会で働くREALを知る」では、職員がどのような想いをもって日々、ご利用者と向き合い、働いているかを紹介します。ご利用者の人生に寄り添い、福祉で地域を元気にする聖風会で、あなたも一緒に働きませんか？



ご利用者の「笑顔が見たい」が働くモチベーション

新人の頃、あるご利用者の介助を苦手としていました。そのご利用者は職員に対してあたりが厳しい方で、介助に入ると何を行っても笑顔見せてくださらず、「違う、他の人呼んで」と突き放されることもしばしばありました。その時、私の負けず嫌いな性格が発動して「この方に安心していただいて、絶対に笑顔にさせるんだ！」と必死に食らいつく毎日が始まりました。
今振り返ると、何もわからなかった私にその方は私の介助がどうであるか厳しくも優しい形で教えてくださっていたんだと思えます。1年目を終える頃にはその方の居室の担当になり、名前を覚えていただけてとても嬉しかったです。



「誰から教わるか？」目指したい先輩になるために



入職から3年目の頃には、自分より年齢も職歴も先輩の方に教える立場になりました。これまでのアルバイトでも後輩に教えることはあっても、先輩を指導するのは初めてで戸惑いと不安を感じていました。「未熟な私に教えられて、嫌な気持ちにならないか」「私の伝え方でわかるだろうか」など葛藤の毎日でした。
そんな時に教わる立場になって考えると指導する側が戸惑いを見せたり、自信がなかったり、すると相手も不安になると感じました。そして私を信じて「教える」という役目を任せてくれているのだから大丈夫と気持ちを切り替えていきました。最近では部下のリーダー職の指導の際にも、自信をもって向き合っています。

相手の状況を見て、自分から関わっていく

後輩や部下を持つようになり心がけているのは、指示を出した時に受け手にきちんと伝わっているかを確認し、仕事ぶりを見守るということ。特に最近はグローバル職員も増えたので、日本語自体が伝わっていないこともあります。指示の取り違えは、服薬のミスなど健康に関わる重大な事故につながる可能性も秘めています。そのため、指示を出した時点で共通理解ができていることを確認して、行動するまでは声掛けもこまめに行なっています。
私は学生時代の実習で指導職の方に放置されて孤独を感じたことがあります(聖風会ではありませんよ、笑)。忙しそうな様子に声を掛けるのをためらったり、かといって勝手に行動してはいけないというもどかしさを感じたり…。入職したての頃はわからないことも多く、指示を待つことがどうしても多くなりがちです。その頃の自分に関わる気持ちで、職員には小さな仕事でも見つけてこちらからどんどん声を掛けるようにしています。

支え、支えられて育まれた介護のプロへの道

新卒で入社してから早8年。続けてこられたのは、聖風会が人材育成体制や研修制度が整っていたからだと感じています。新人の頃は1年間、トレーナー（新人指導担当者）が付いて教えてくれたのは大きかったです。また、入職して3年目までは同期と顔を合わせる研修もあって、同じ悩みを抱える同士で話せたのは良かったです。
私の周りには同じ介護業界で働いている友人が何人かいますが、転職は少なくありません。改めて共に働く職員やご利用者に教えていただき、職場環境に恵まれてここまでの成長につながったと感じています。共に働く仲間としてお待ちしていますよ！



[クローバースマイル一覧へ]

聖風会マガジン クローバースマイル



2025.03.10

採用情報　聖風会で働くREALを知る　星野職員 編

丁寧で根拠ある仕事で、「笑顔」を支える

#人（人材）～働きやすさと働きがいと～　#採用　#足立新生苑

聖風会は「最高に価値あるものをすべての人に」という法人理念のもと、ご利用者一人ひとりにとっての「最高に価値あるもの」とは何かを考え、大切に実践してきました。

一人ひとりの職員が、介護のプロとしてケアの質を高めていく取り組みの中に「成長」も「働きがい」も生まれると私たちは考えています。

「聖風会で働くREALを知る」では、職員がどのような想いをもって日々、ご利用者と向き合い、働いているかを紹介します。ご利用者の人生に寄り添い、福祉で地域を元気にする聖風会で、あなたも一緒に働きませんか？



働くうえで大切にしたいことが聖風会にはあった

私の母がヘルパー（訪問介護員）として介護の仕事をしており、子どものころから福祉・介護の仕事が身近にありました。高校卒業後、介護の世界に足を踏み入れてみたいと思い、専門学校へ進学し、福祉・介護を専門的に学ぶ中で自分はどのように働きたいかを考えました。
就職活動中に聖風会を知り、運営理念である「相手の笑顔・自分の笑顔」が目に留まりました。すぐに施設見学を申し込み、実際に現場の雰囲気を体感すると、ご利用者だけでなく、職員も楽しそうに笑って仕事をしている姿は今でも焼き付いています。その瞬間に、自分もこの法人で同じ仲間として仕事がしたいと強く感じ、入職しました。



「質の高いケア」を提供するために必要なこと

経験を重ね、自分自身のキャリアも上がっていく中で、福祉・介護の仕事は１つひとつに根拠を求め、自分自身が意味を理解していなければ「質の高いケア」は提供できないことを先輩・上司からの指導や研修（内部・外部共に）を通して学びました。このことは今の自分の土台となっており、ご利用者へ対するケアだけでなく、同僚や部下に対する指導においても大切にしています。
例えば、一人ひとりの性格やタイプに応じた接し方や指導を行うことができなければ、こちらの意図や指導内容が上手く伝わりません。入職時、上司や先輩から人との関わり方、伝え方など、人間関係の築き方まで丁寧に指導していただいたことが、いま自分の土台になっており、そのような職場で働けていることに感謝しています。



誰かの夢を叶えることのできる仕事



ある男性のご利用者（徐々に視力が弱まっていた方）はとても野球が好きでした。その方はいつもラジオとテレビで野球観戦をしていましたが「死ぬまでに実際の球場で観戦したい」という強い希望を受け、私の上司、看護師、同僚の職員たちと何度も協議を重ね、実際の球場へお連れすることができました。当時、そのご利用者の方は、ほとんど眼は見えていなかったと思いますが、球場全体の大歓声、打球音など、臨場感を全身で感じていただくことができ、とても満足された表情を浮かべていたことをいまでも覚えています。
観戦後、施設へ戻られた後、私に対し「夢をかなえてくれて本当にありがとうな。」と満面の笑みで話してくれたことが、これまで働いてきた中で最も印象に残っているエピソードであり、自分の誇りにもなっています。

介護のプロフェッショナルとして共に働こう

ご利用者に対して「質の高いケア」を提供したいという想いはもちろん、共に生活をする一員として楽しみながら、豊かな時間を共有することを目指しています。どのような仕事でも大変なことは多いと思いますが、聖風会は自分自身が楽しめること・笑顔でいられることのできる法人です。
また、介護の技術や知識だけでなく、人として成長することができるようにとても丁寧に指導をします。自分自身がどういった職員になりたいのか、どのようにキャリアアップを目指しているのかなども相談しながら、理想を追求することのできる法人です。一緒に働くことができるなら、あなたに介護のプロフェッショナルとして成長してもらえるよう全力でサポートするので、興味を持っていただけると嬉しいです。



[クローバースマイル一覧へ]

聖風会マガジン クローバースマイル



2025.03.10

採用情報　聖風会で働くREALを知る　原橋職員 編

成長できる環境で、ご利用者の人生に寄り添える介護のプロに

#花畑あすか苑　#人（人材）～働きやすさと働きがいと～　#採用

聖風会は「最高に価値あるものをすべての人に」という法人理念のもと、ご利用者一人ひとりにとっての「最高に価値あるもの」とは何かを考え、大切に実践してきました。

一人ひとりの職員が、介護のプロとしてケアの質を高めていく取り組みの中に「成長」も「働きがい」も生まれると私たちは考えています。

「聖風会で働くREALを知る」では、職員がどのような想いをもって日々、ご利用者と向き合い、働いているかを紹介します。ご利用者の人生に寄り添い、福祉で地域を元気にする聖風会で、あなたも一緒に働きませんか？



介護のプロたちの姿勢に感動

専門学校の時、実習で聖風会の千住桜花苑でお世話になりました。
その時、実習指導を担当して頂いた職員のみなさんが日々の介護支援で、ご利用者一人ひとりを尊重する接し方をされている姿を見て、とても感動しました。
ご利用者に対して「最高に価値あるものをすべての人に」を実践されている職場であると感じ、自分も聖風会で先輩たちのような介護福祉士を目指していきたいと思い、入職しました。

働く中で、自分が成長している実感を持てる



聖風会で働きはじめる前は、私はあまり自分の意見や思ったことを相手に伝えることが苦手でした。しかし、現在では仕事を通じて考える力（ご利用者のケアを根拠をもって行う）や経験を重ねていく中で、物事から学びとる力や知識が増え、ミーティングや会議の際にも自信を持って発言することができるようになりました。
また、聖風会の人材育成制度のトレーナー（新人育成担当者）を経験できたことで、自分の経験や学びをどの様に伝えることで後輩も成長できるのか、相手の立場に立って実践できる様になりました。

ご利用者の人生に寄り添える仕事

担当ご利用者のご家族が来られた際に「私のことをとても理解してくれて、良くしてくれてる職員さんなの」と私を紹介いただくことがありました。当時はそのご利用者の望まれていることを少しでも理解しようと考え、悩みながら向き合っていたので、その言葉を聴いたときは報われた気がして、とても嬉しかったです。
またある時、別のご利用者の方が私の夜勤中に亡くなられた際、ご家族に「最後、良い顔の父を看取ってくださり、ありがとうございました」と声をかけて頂きました。他の職員からは「〇〇さん、信頼していたあなたが近くに居て、とても幸せだったと思うよ」と伝えられ、改めて介護の仕事はご利用者の人生に寄り添える尊い仕事だと気づかされました。



福祉・介護の専門職が知恵と力を合わせる職場

これから聖風会に入職を考えている方にお伝えしたいことは、仕事でできないことや困ったことがあるときには「いつでも上司や先輩たちが相談に乗ります！」ということです。そして、ご利用者のより良い生活のために、「介護の質」を高めたり、できないことを克服したりするために福祉・介護のプロである様々な専門職のみなさんが知恵と力を貸してくれます。
新しいことを始める、新しい道に進むときには不安がつきものですが、私自身も考え、悩みながら改善していく中で、一歩一歩、着実に自分の力にできる職場です。一緒にがんばって、東京の福祉・介護を支えていきましょう！



[クローバースマイル一覧へ]